

相生山緑地オアシスの森くらぶ ニュースレター

39号

2010.10.9発行

発行/相生山緑地オアシスの森くらぶ編集委員会 発行人/大館 学 編集長/近藤 真史

INDEX

【本号掲載分の活動】

- 5月22日(土) ... 竹林管理&デッキ補修/定例活動
- 6月26日(土) ... トンボ池周辺整備&竹林整備/定例活動
- 7月24日(土) ... 小屋周辺整備&森の解説板張替え/定例活動
- 8月28日(土) ... 巣箱づくり/定例活動

5月定例活動

竹林管理&デッキ補修



5月定例会は名古屋市天白生涯学習センター講座「まるごとCOP天白」の第2回目「竹林整備で明るい森に」を兼ねて行いました。生涯学習センター講座は午前中のみで、くらぶの竹林管理作業に合流する形で実施しました。当日は5月には珍しく盛夏なみの気温です。くらぶ員の参加は18人、こ

れに午前中は講座参加者11名が加わり総勢29人が参加しました。

講座の前半1時間は森を歩いて相生山を知ってもらうとともに植生管理の意義を説明しました。そして後半1時間では実際の竹の伐採作業体験をしてもらいました。ここで講座のお世話は私と森さん、中島(己)さんの3人です。

参加者は環境に関心がある方が多かった様です。私の説明より実際の竹切り作業を楽しんでいると感じました。皆さん楽しそうに作業に汗を流していました。どんなに話も、体験にはかきません。今回の講座を機会に里山に更なる関心を持ってくれたらと願っています。

◇ ◇ ◇

午後からは成り行きで炭焼き広場の木製デッキのペンキ塗りをする事となりました。会員の皆さんも午前中の作業で随分疲れたと思いますが、森の

中にいると平常とは違う元気が出てくるようで、もう一踏ん張りの作業をすることが出来ました。(もっとも私自身は翌日以降に疲れが残るのですが)前回リニューアルから3年を経て老朽化の激しかったデッキが、表面材交換と今回の塗装により見違えるように綺麗になりました。

これでデッキもしばらくは延命が出来ると思います。引き続き皆さんの憩いの場となることを期待しています。(村田)



▲デッキの補修作業のようす



『第12回どんぐり祭り』を開催します！

猛暑続きだった過酷な夏よさようなら～、そして気持ちのいい秋よこんにちは～！…ということで、今年も秋の恒例『どんぐり祭り』を元気に開催します。

この時期、各地でいろいろなイベントも重なり、みなさんお忙しいところかと思いますが、万障繰り合わせて是非遊びに来てくださいね。

詳しくはチラシをご覧ください。(ホームページでも見られます。)

日時：10月23日(土) 午前10時～午後3時
 場所：集いの広場ほか
 参加費：100円(保険代含む)



【メニュー】

- | | | |
|----------|--------|---------|
| 元祖！柴刈り大会 | 木登り体験会 | 森のクラフト |
| どんぐりの背比べ | 丸太切り大会 | 森のレストラン |
| 自然観察会 | 八事の蝶々 | 森のコンサート |

6月定例活動

トンボ池周辺整備 & 竹林整備



6月の定例活動は、トンボ池周辺の草刈りとヤゴの観察が定番になっており、ここ数年は「春の環境デーなごや」の行事に協賛して、活動を続けています。

今年は広報なごやの募集記事が2面のカラー版で目立つページにあったことと、COP10に向けての一般の方々の自然に対する興味が高まりつつあることのダブル効果で、なんと競争率20倍の難関を越えてめでたく参加できた7家族23名の家族を対象に、くらぶ会員を合わせた40名を超えるにぎわいの定例会となりました。

最初に全員で鎌を持ってトンボ池周辺の草刈り、夏休みに向けトンボ池の周りをきれいにし、これから始まるヤゴの観察の準備です。

子どもたちはタモを池に入れ、ヤゴや水生昆虫を探します。ギンヤンマ、シオカラ系、アカトンボ系など様々なヤゴがかかります。2週間前に観察をしたときはアカトンボ系のヤゴが多かったのに、今回はシオカラ系のほうが少し多い。また、今年はギンヤンマのヤゴがとても目立ちました。

観察のためトレーに採集したヤゴは、ほんの少しの時間なのにギンヤンマのヤゴがほかのヤゴを食べ始めており、アカトンボのヤゴが少ない理由が理解できました。特筆すべきは、水辺からヒメタイコウチが見つかったこと。トンボ池を作ってからほぼ10年がたち

ますが、トノサマガエルの復活に加え、自然がどんどん回復してきている様子を目にしておもしろくなります。

ヤゴの観察の次は、ジャガイモの収穫体験です。3月に植えたジャガイモはまだ少し小さいものの、まずまずの出来。昼に竹炭でホイル焼きにして「じゃがバター」でいただきました。

暑い日の作業で少しお疲れの様子でしたので、少し長めの昼休みをとり、午後の活動は山根口近くの竹林で雑木林に侵入する竹の除伐です。1本1本切り倒し、枝をきれいに切り落とし、所定の場所に積み上げると林の中が見違えるほどきれいになります。1時間半ほどの作業を終えてから、トンボ池で記念撮影。今年は盛りだくさんの内容で、準備に協力いただいた会員の皆さんありがとうございました。(大館)



シリーズ『森の住人たち』②⑤

～オオカマキリ (大螳螂) ～

— 日本を代表する大型カマキリ —



花の咲き具合を見極めて、写真を撮ろうとしているときだった。逆三角形頭部の両脇の目が、じっと私を見つめた。ファイティングポーズを決めたオオカマキリだった。ふたつの鎌を、今にもそれを振り下ろさんと

構えている。吸蜜に訪れるチョウを待ち伏せていたところを、邪魔した格好だ。それにしても、花陰に上手くカモフラージュしたものである。

カマキリは日本に11種生息し、オオカマキリは日本を代表する大型のカマキリである。体色は、緑色と褐色の2種ある。雌雄でそれぞれ体長の大きさが違う。メスがやや大きく75～95mm。鎌を構えた姿は、体長以上の大きさになり、迫力満点だ。カマキリを捕まえようと手を伸ばすと、即座に鎌が動く。思わず手を引っ込めた経験を持つ。またカマキリは、オガミムシともいわれる。前足を揃えた状態が拝む姿に似ていること

オオカマキリ	カマキリ科
体長	オス68～90mm、メス75～95mm
分布	北海道、本州、四国、九州に分布
食餌	チョウ、セミ、バッタなどの昆虫を捕食

から、このように呼ばれている。

ある日の観察会のこと。アブラゼミが、それまでと違う異様な声で鳴きはじめた。参加者が「あっ～、あっ～」と興奮した声をあげる。指差す方向をみれば、アブラゼミが食べられている真っ最中。ため息とともに「かわいそう～」という声も、聞こえてきた。どんな生きものも、生きていくために必死だ。

10月も半ばを過ぎると、オオカマキリの動きが緩慢になる。大抵は、大きな腹部を抱えたメス。産卵期が近づくと、秋が一段と深まる。

(文責 自然案内人 近藤 記巳子)

7月定例活動

小屋周辺整備



暑い夏の日でした。

当日は二つになった物置小屋の前の整地に参加者全員が協力して作業を進めました。

まずは凸凹の土地を平らにすることから始まりました。長年、職場で培われた知識や技を出し合いながら、だんだんに思うような状態に変わり、用意した小石を敷き詰めました。この上に約30センチ四方、厚さ10センチ程の石板を20数枚、すき間のないように並べました。さらに、山側からの排水

路も確保し、その脇に長い棒状の石材で枠を作り、土砂が流れ込まないようにしました。

石材の一枚一枚、そして一本一本がいずれも相当に重く、手作業でよくここまで完成させたと思います。

途中、先月掘り残したじゃがいもを炭で焼き、皆でおいしくいただきました。

資材調達のため店まで二往復、さらにじゃがいもを焼くばかりに用意してくださった村田さんほか、全ての参加者に感謝の日でした。(河野)

森の解説板の張替え

連日真夏日が続く7月24日(土)、定例活動日の午前に森の解説板の張替えを行いました。

この森の解説板は、森の散策に訪れた人々に、森くらすの活動内容・意義を分かりやすく説明したもので、竹林・赤松林・ツツジ・ビートルアパート・トンボ池、竹炭などの活動ポイントに設置してあります。

前回設置してから、4～5年経ち、汚れて見にくくなったものや、剥

がれてしまったものなど合わせて5か所の張替えと1か所の新規設置(相生口竹林)を行いました。解説板が新しくなると、なぜか森の中も明るくなったようで、今後の活動のパワーアップにつながる気がしました。

なお、解説板のラミネーター加工については、天白土木さんの全面的な協力をいただきました。ありがとうございました。(大館)



▲老朽化した解説板の張替えに加え、相生口竹林にも新たに解説板を設置

8月定例活動

巣箱づくり



8月の定例活動はクラフト製作、巣箱づくりに初挑戦です。

手慣れた方はあらかじめ用意された図面を元に手早く作業が進められてゆきます。

竹細工の時と同様、図面を手にしてどこからかればいいのか自失状態、

結局は村田さんをリーダーに女性陣と共に共同作業となりました。

ひたすら鋸引きに専念、素材が整えば後は組み立て、それぞれ完成を見たのですが、一枚の同じ図面から仕上げたとは思いがたいほど姿・形は色々で

大笑いでした。

製作段階に関わることで思い入れも深くなります。昨年の調査では新居が好まれるとか、営巣の様子を見ながらの散策、視点が広がりが楽しみが増えました。(早川)



▲野鳥の“新居”となることに期待しつつ、はいチーズ！



金森弘さん、昌子さんご夫妻

4月に園内を散歩中、森くらぶの活動を見かけたのをきっかけに入会。特に興味のある活動は木工クラフトと炭焼き。瑞穂区在住。

Schedule

【今後の活動予定】

☆：定例活動 ★：特別活動

特記以外は **集いの広場 10:00集合**

●：運営委員会

偶数月は第2土曜の午後 **相生小学校 13:30～**

奇数月は第2日曜の午前 **相生小学校 10:00～**

★10月11日(月・祝) アサギマダラマーキング

☆10月23日(土) 第12回どんぐり祭り

★10月24日(日) 天百区民まつり参加 (天白公園にて)

●11月14日(日)午前 運営委員会

☆11月27日(土) 竹林の整備&竹炭用材づくり

●12月11日(土)午後 運営委員会

☆12月25日(土) 正月準備&梅の剪定

2011年

●1月9日(日)午前 運営委員会

☆1月22日(土) ツツジの園再生&しいたけ駒菌打ち

●2月12日(土)午後 運営委員会

☆2月26日(土) アカマツ林再生プロジェクト

●3月13日(日)午前 運営委員会

☆3月26日(土) 第13回苗木祭り

Information

●●●● 会員募集中! ●●●●

このクラブは、相生山緑地オアシスの森を活動の場として、昆虫、鳥類を含めた、多様性のある森づくり、環境づくりなどのフィールドワークを行い、会員同士のふれあいや、オアシスの森を通じて地域の人との交流などを行う、楽しい集いです。

具体的な活動内容は

- ◆オアシスの森を訪れる人々に、自然観察の方法や楽しみ方を知ってもらえるよう案内する。
- ◆公園管理者と協力しながら、オアシスの森での植生管理作業を行う。
- ◆植物、野鳥や地形、地質、気象などの調査を行う。
- ◆柴刈り大会や自然観察会などのイベントを適宜行う。
- ◆その他、目的を達成するために必要な事業を行う。

○会費は年間1,500円(保険料含む)です。主に連絡、郵送費です。

○振り込み先(郵便局) オアシスの森くらぶ 00860-7-33725

【参加申込み・お問合せなど】

事務局

伊藤百寿人 052-895-8523

中島己治男 052-803-9534

【Eメール】

Mail address :

aioyama-moriclub@mail.goo.ne.jp

★参加申し込み・お問い合わせなどをメールでも受け付けています。

★会員の皆さんへ・・・活動に関する各種の情報を提供するため、メールアドレスをお持ちの方はお知らせ下さい。

【ホームページ】

URL address :

http://f44.aaa.livedoor.jp/~oasis/index.html

★ニュースレターのカラー版(PDFファイル)がダウンロードできます。

★定例活動・特別活動の報告や予告などを随時更新しています。

ホームページ管理・作成スタッフを募集しています！
お手伝いいただける方、興味のある方、是非ご一報を!!

【編集後記】

前号でお伝えした「オアシスの森ガイドブック」がついに完成しました。

オアシスの森の魅力や森くらぶの活動などの情報がギッシリと、分かりやすくまとめられています。これを読んだ

多くの人たちが、オアシスの森に一層

興味を持つようになり、さらに森くらぶの活動にも参加してみようか、というところに…なんて期待してしまいます。

昨年秋から始まった編集作業に携わった多くの皆さん、本当にお疲れさま

でした。

いずれホームページ用に再編して、より多くの人が見られるようにしたいと考えていますが、あくまで“いずれ”ということで、大きすぎる期待はご勘弁願います。(編)